

エンゲージメント

- 252 [ステークホルダーエンゲージメント](#)
- 254 [株主・投資家](#)
- 256 [地域社会](#)
- 257 [ビジネスパートナー／コンソーシアム](#)

ステークホルダーエンゲージメント

持続的な競争力および企業としてのレジリエンス（強靱性）の創出とステークホルダーとの信頼関係を構築しています。

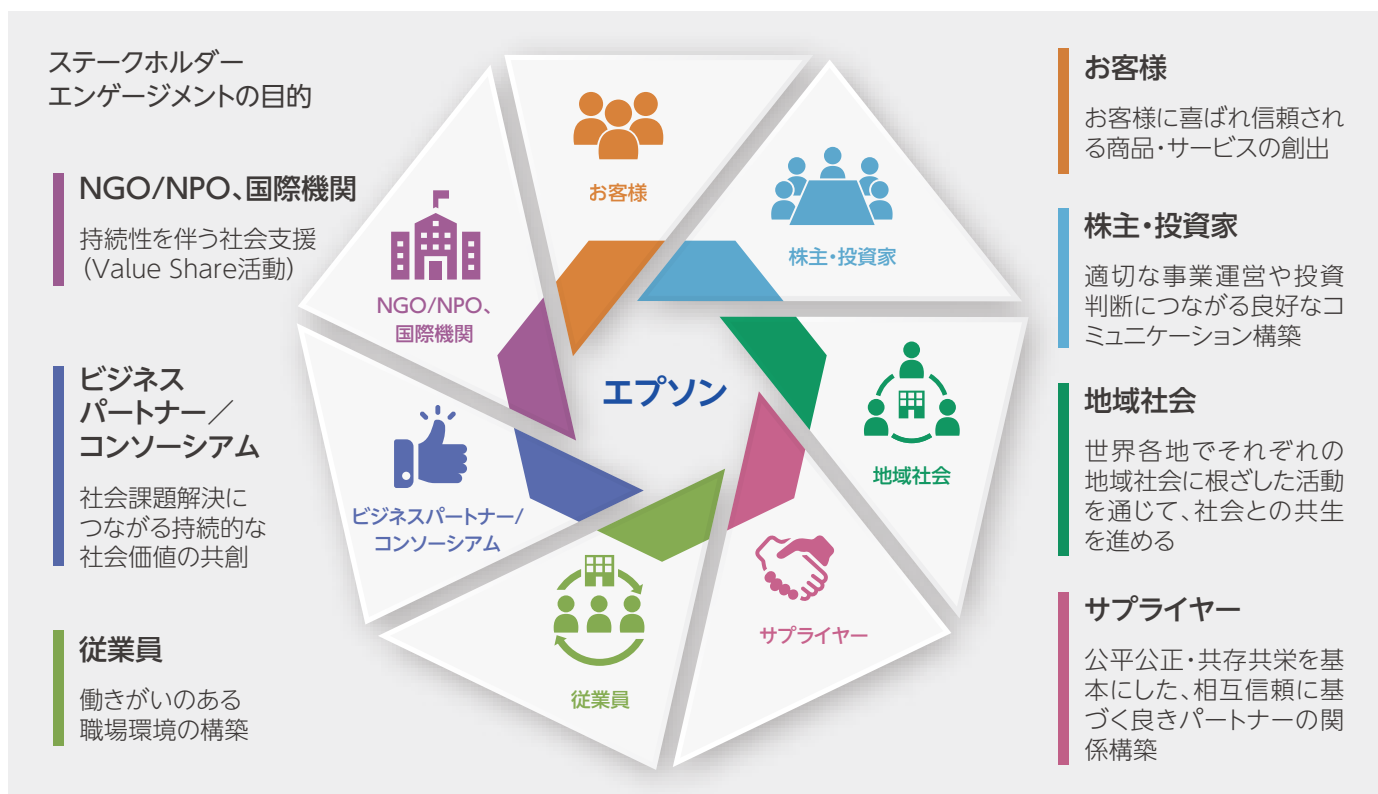
社会課題解決を基本とした事業運営に向けては、多様なステークホルダーの期待や要望を適切に把握・反映することを重視し、持続的な競争力および企業としてのレジリエンス（強靱性）の創出を図るとともに、信頼関係の構築に努めています。

ステークホルダーエンゲージメント¹⁾は、さまざまなステークホルダーの皆様とエプソンを結ぶ重要な架け橋です。エプソンは、全てのステークホルダーの皆様に以下の3つの価値を提供します。



また、社会支援活動については以下の3つの基本的な考え方に基づき、環境、教育・文化、生活・地域を重点活動分野として実施します。

- SDGs達成に貢献します
- 持続可能でこころ豊かな社会の実現を目指します
- 世界の各地域に根差した活動を展開します



¹⁾ 企業とステークホルダーの対話。企業が活動や意思決定を行う上で、ステークホルダーの関心事項を理解するために行われる取り組みを指します。

株主・投資家



適切な事業運営や投資判断につながる良好なコミュニケーションの構築を目指し、積極的に機関投資家や個人株主との対話を実施します。さらに市場要請に応じた情報の公開や対話手段の強化を行います。

お客様



お客様に喜ばれ信頼される商品・サービスの創出はもちろん、さらなる改善に向けお客様とのコミュニケーション強化や共同活動による価値創造に挑戦します。

サプライヤー



サプライヤーは、経営理念実現のための重要なパートナーであり、信頼関係を構築することにより、共存共栄を目指しています。主要拠点がある長野県や海外の主要生産拠点では、毎年サプライヤーの皆様には事業方針や調達方針などを共有する説明会を開催しています。また説明会では、経営層がサプライヤーの皆様の声を直接聴き、相互理解を深めることで、連携強化を図っています。サプライヤーの評価も毎年実施し、改善活動を支援することで、社会的責任の遂行につなげています。

従業員



企業経営を支える従業員がいきいきと活発に働ける環境を目指し、組織風土改革を進めます。

- 風通しの良い自由闊達なコミュニケーションに向けた対話会
- 組織風土アセスメント、こころの健康診断
- 社長メッセージの配信と従業員からの意見・感想の収集

ビジネス
パートナー/
コンソーシアム

社会課題を解決し、持続可能な社会を実現するには、それぞれ得意分野を持ったパートナーとの連携が欠かせません。これまで以上に共創活動を強化し、広くパートナーシップを構築します。

- パラレジンコンソーシアム
- スマートシティ会津若松
- 北九州イノベーション拠点
- 東京渋谷ポイント0オープンプラットフォーム
- 信州大学(小型規模循環型リビングイノベーション) など

地域社会



従来の単なる寄付や支援だけでなく、世界の地域や団体と連携し、持続的な共存につながる活動を続けます。

- トビタテジャパン留学生支援、セイジ・オザワ松本フェスティバル、美術館支援、写真コンクール
- 松本山雅FC、地域清掃、祭り、諏訪湖花火
- エプソン国際奨学財団、エプソン情報専門学校運営を通じた学生支援、地域人材の育成

NGO/NPO、国際機関



持続性を伴う社会貢献を目指し各種団体との価値創造活動をグローバルに展開します。

- 野鳥の会、植林、珊瑚移植、児童への環境教育、インクカートリッジ共同回収
- ゆめ水族園、献血、障がい者スポーツ支援(知的・身体)、各地域病院支援
- JICA包括連携協定締結、アジア・アフリカ研修生受け入れ、JICA駒ヶ根隊員教育支援

株主・投資家

株主・投資家との対話

-適切な投資判断を促し、経営の質向上につなげる-

IR活動・SR活動の方針・考え方

エプソンは、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するためには、あらゆるステークホルダーとの誠実な対話を通じ、経営の透明性を高め、長期視点での信頼関係・パートナーシップを構築し、強化していくことが、重要かつ不可欠であると認識しています。その取り組みの一環として、株主・投資家等に対する情報開示方針を明確にして、IR活動やSR活動の更なる充実を図り、建設的な対話を実施しています。

株主・投資家等との対話は、代表取締役社長、IR・SR担当役員、またはIR・SR担当部門の管理職等が行うことを基本とし、社外取締役を含む取締役も合理的な範囲で対応しています。対話を通して株主・投資家の皆様からいただいたご意見を都度経営層にフィードバックし、経営の質を高める取り組みに活かしています。

私たちが直接お会いできる株主・投資家の皆様の数は限られていますが、より多くの方に当社の考えを伝えるべく冊子やWebサイトなど、ツールを通じたコミュニケーションを積極的に行っています。特に、多くの方々に、同時に情報を伝えられるWebサイトの作成には力を入れ、IR情報だけでなく、サステナビリティ情報も常に最新の情報に更新しています。

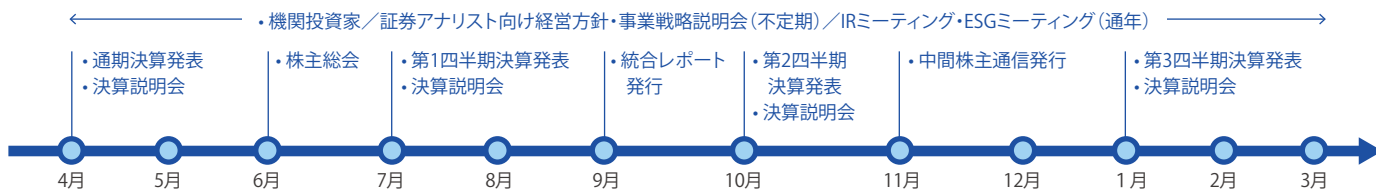
アナリスト・機関投資家向けミーティング実績

2023年度実績

総ミーティング回数 **255**回
 ▶国内 **134**回 ▶海外 **121**回

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
国内	153回	135回	142回	134回
うちSR面談	13回	6回	18回	18回
海外	82回	104回	127回	121回
合計	235回	239回	269回	255回

IR基本カレンダー



* スケジュールは年度により変更となる場合があります。

その他のIR関連活動実施内容

- ・IR・サステナビリティ関連ツールの改善・情報充実検討
- ・株主総会関連書類の早期開示、記載充実
- ・開示資料の英訳による海外投資家への情報提供
- ・サステナビリティウェブサイトの更新・内容充実
- ・コーポレートガバナンス・コードへの対応と対応内容の開示

2023年度のエンゲージメント活動

■ エプソンへの関心を高めるための取り組み

株主や投資家の皆様にエプソンを知っていただき、成長戦略や事業環境をご理解いただくために、積極的にIR活動を行っています。

2023年度は、セルサイドアナリストや機関投資家の皆様との1on1形式のミーティングだけでなく、CEO・CFOによるスモールミーティングや、事業構造改革が前倒しで進展し収益性が改善したビジュアルコミュニケーション事業のスモールミーティングなどを実施しました。また、これらのミーティングは、オンラインやハイブリッド形式も増加させたことで、より多くの方にご参加いただけるようになりました。

今後も、より多くの方々にエプソンを知っていただくための取り組みを続けてまいります。

■ 機関投資家の皆様と社外取締役の対話会を開催

2024年2月、当社社外取締役6名全員の参加のもと、4回目となる機関投資家の皆様との対話会を開催しました。2021年度、2022年度はオンライン形式でしたが、今回は対面形式とし、対話においてより議論が深まるような運営へと改善しました。対話会では、企業価値向上に向けた、機関投資家の皆様、社外取締役双方の課題認識を踏まえ、活発な議論が交わされました。このような場を設け、社外取締役が機関投資家の皆様との相互理解を深めることは、当社取締役会の実効性向上につながります。また、議論の内容をできるだけありのままに公開することは、当社のステークホルダーからの信頼獲得につながると考え、今後も実施を継続していく予定です。

■ エプソンの企業価値向上を目指した対話

前年度（2022年度）の対話や社会動向から得られた課題に対して経営改善を行い、以下をはじめ、その進捗を統合レポート2023などで開示しています。

- 制定したパーパスについて、社内浸透のロードマップを開示
- マテリアリティの機会とリスク、KPIを設定。それらと関連付けて価値創造戦略を開示
- 人的資本・多様性について、開示フレームワークに基づき開示

統合レポートなどの開示情報に基づいて、2023年度に株主・投資家の皆様と対話した結果、これまでの経営改善に向けた取り組みについて評価いただくとともに、さらなる改善に向けた示唆として、以下の貴重なご意見をいただきました。

- 商品・サービスによるGHG削減貢献量の算定と開示
- 経営戦略・DX戦略と連動した人材戦略
- DXの進捗
- 生物多様性、人権への取り組みの開示強化 など

対話結果は、サステナビリティ戦略会議および取締役会で報告し、さらなる経営改善に活かしています。さらに、決算発表に対する資本市場の反応を経営会議で報告し、また、決算発表後に株主・投資家の皆様から直接いただくご意見やご要望も週報などで社内共有することで、投資家の関心事項や懸念点への理解を進め、事業活動や開示向上に向けた取り組みの参考にしています。

地域社会

地域社会との連携

- 各地域の課題解決につながる価値創造 -

長野県／自治体・観光施設と連携したトライアスロンの開催

■ 活動内容

2024年6月長野県諏訪地域の自治体、商工会議所、長野県トライアスロン協会などが連携し、2回目となるスワコエイトピークストライアスロン大会2024を開催しました。エプソンはGPS・センサー技術を活用した位置情報によるアスリート一人ひとりの安全・安心を見守る運営を支えたことに加え、競技中のランニングフォームなどの運動解析データをレポートとして提供しています。競技タイムだけでなくアスリート同士が競い合える指標を提供することでリピートにつながる大会にするとともに、地域の魅力を高め、地域振興にもつながる活動としてさらなる発展に貢献します。

美しい諏訪湖と八ヶ岳の素晴らしさを次世代に受け継ぐ挑戦

大会運営事務局
事務局長 小島 拓也 様



近年旅行に対するお客様のニーズや価値観が大きく変化いたしました。

泳ぎたい諏訪湖を取り戻したい諏訪湖周2市1町、八ヶ岳をロードバイクの聖地にしたい八ヶ岳山麓3市町村、この6市町村の仲間達が繋がり実現したのが、スワコエイトピークストライアスロン大会です。美しい諏訪湖と八ヶ岳の美しさを次世代に受け継ぐために、我々は大会を継続させていきます。今後もエプソンさんと一緒に大会を盛り上げていきたいと思っております。

■ 解決する社会課題と価値

具体的な活動・アプローチ

トライアスロンにとどまらず安心してスポーツに取り組んでもらえる環境、及び上達に向けたアドバイスを提供することで幅広い年齢層に運動習慣を身につけていただき、健康促進・生活の質向上を目指しています。

価値提供ポイント

- 選手のリアルタイムな見守りサービスの提供
- 選手の運動情報の見える化によるスキルアップ
- 最適な人員配置による運営の効率化
- 安全性・付加価値提供によりイベント自体の価値を向上し、地域振興活動を支援する



ビジネスパートナー／コンソーシアム

ビジネスパートナーと連携した価値提供

-社会課題解決につながる持続的な社会価値の共創-

日本／協働的な学びを通して創造力と自信を育むアプリケーション「プログラマッピング」の開発

■ 活動内容

エプソン販売と株式会社ユニティは若年層学生に向け、デジタル人材の育成に貢献するアプリケーションを共同開発しました。

このアプリケーションは、文科省が学習指導要綱で求める「資質・能力の育成」に向けた「主体的・対話的な深い学び」に繋がる授業改善への有効な手段と考えています。これまでのプログラミング授業では、論理的な思考を育むことはできますが、主体的・対話的な学習の実現に繋がらなかったという課題の解決に対応します。共同開発した「プログラマッピング」は、直感的な操作によるプログラミングで、プロジェクトマップ映像を作ることができ、作品づくりを通して、発想力と想像力を刺激しながら子供たちの創造力などを育むことができるアプリケーションです。



■ 協働パートナー

- 株式会社ユニティ
- 放送大学
- 教育委員会

■ 具体的な活動

- 「プログラマッピング」の共同開発
- 柏市立大津ヶ丘第一小学校との実践授業
- 「プログラマッピング」のWebサイト構築と先生方への指導案の配布
- 教育メディアの露出拡大による教育現場への認知度向上

■ 解決する社会課題と価値

具体的な活動・アプローチ

創造したことをすぐに投影しながら、多くの生徒と議論する事で、協働しながら学べるので、論理思考だけでなく、これまで難しかった主体的・対話的で深い学びに繋がるような授業が実現できる。



パートナー企業メッセージ

株式会社ユニティ
取締役営業本部長 扇舎 洋文 様



子どもたちの豊富なアイデアが「プログラミング思考」+「表現と制作の活動」を通してオリジナリティあふれるプロジェクトマップングを生み出す世界を創るために、エプソン販売様と協働して「プログラマッピング」を開発しました。

知育・教育アプリケーションあそびでまなぶ！シリーズの開発で得られた子どもたちにとって使いやすいインタフェースやデザインなども子どもたちに受け入れられた要因と感じています。

国際コンソーシアムとの連携

-社会課題解決につながる持続的な社会価値の共創-

CSRヨーロッパ

欧州におけるサステナビリティ活動に参画

CSRヨーロッパは、欧州委員会 (European Commission: EC) のルールづくりに対する提言を行う団体で、企業や自治体、NGOなどのCSR活動を支援する、欧州有数のビジネスネットワークです。Epson Europe B.V.は、2017年9月にCSRヨーロッパに参加しました。以後、Epson Europe B.V.は、業界でのネットワーク構築およびサステナビリティに関するルールづくりに参加し、持続可能な社会の実現と企業の持続的な発展の両立に役立てています。

